

情報交差点・心と心の交わり

# あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

今年もあの季節がやってきた…

参加者内訳

チャレンジデー2019開催!!



大宜味中



大宜味小

**CHALLENGEDAY**

大宜味村

57.3%

(1772名/3090名)



北海道知内町

60.6%

(名 2660/4388名)

婦人会



やんばるビジターセンター建設業者



他にも様々な方たちが参加してくれました♪

毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ同じ自治体間で、午前0時～午後9時までの間に15分以上継続して、スポーツや運動を行った『住民参加率(%)』を競い合うチャレンジデーが5月29日(水)に開催されました。

大宜味村は今年で6度目となる挑戦となります。ここまで5年間の成績は1勝4敗。初年より参加率も大分よくなってきたものの、あと少しのところで勝利を逃していました。

今年の特戦相手は北海道知内町(4回目)。念願の勝利を収めるべく村民を始め民泊生や工事関係者など多くの方が奮闘しましたが、残念ながらあと少しの差で敗北となりました(次ページへ続く…)。

団体名	参加人数
老人会	170
婦人会	53
青年会	20
喜保	44
塩保	46
幼稚園	35
小学校	171
中学校	89
高校	130
田嘉里	4
謝名城	14
喜如嘉	27
饒波	42
大兼久	3
大宜味	37
根路銘	25
上原	12
塩屋	151
屋古	14
田港	9
押川	2
大保	11
白浜	6
宮城	10
津波	17
江洲	17
えすの里	92
やんばるの家	70
一心療護園	77
まるツ一	116
商工会	102
ビジターセンター建設業者	42
役場職員	60
その他	52
合計	1772

※成人会は各区に含む

### 大宜味っ子たちの健やかな成長を願って… 児童福祉週間パレード

4月26日（金）、大宜味村役場庁舎前にて2019年度児童福祉週間パレード出発式が行われました。

児童福祉週間（5月5日～11日）の運動の一環として、次世代を担う子どもたちの健やかや成長を願い、児童福祉の理念と普及の児童福祉に関する社会的関心を喚起し、児童福祉の向上に資することを目的として行うこのパレード。今年度の標語は山口県の吉田唯さんの「その気持ち 誰かを笑顔にさせる種」です。

出発式では参加者で児童憲章前文を朗読し、主催者を代表して民児会長の山川清さんは「児童憲章前文に唱えられていることが守られていけば問題ない。今回のパレードを通して、村民に民生委員が頑張っていることを伝えられればいいと思う。」と話し、村内各所に向け出発しました。



### 晴れ渡る伊是名村を駆け巡る… 第29回やんばる駅伝伊是名島大会

5月25日（土）、伊是名村において第29回やんばる駅伝伊是名島大会が開催されました。

今年で29回目となるやんばる駅伝。29回連続出場の大城武さんを始め、村陸上での活躍が光る長距離選手、今回初出場の花城綾



山城弘樹さん（大宜味）

姫さん、平良拓己さんが日頃の練習の成果を出し、伊是名島を走り抜けました。結果は2時間54分59秒（総距離43.2km）で15位に終わりましたが、それぞれが自分の全力を発揮し、昨年のタイムを7分26秒縮める結果となりました。

個人では山城弘樹さんが5年連続出場賞を受賞しました。

来年は記念すべき30回大会が伊平屋島で行われます。日々の練習に励み、伊平屋島大会では躍進賞に輝いてくれることを期待しています。



### 大宜味村児童生徒等県外派遣に関する補助金交付事業について お知らせ

趣旨 県外で開催される運動競技または文化活動における大会等へ、代表として参加する際の派遣に要する経費に対する補助金

- 対象 ①大宜味村立の小学校及び中学校に在籍する児童生徒
- ②大宜味村内に住所を有する高校生
- ③大宜味村内に居住する者の子及び被扶養者で大宜味中学校を卒業し高校に就学中のもの

（交付額） 予算の範囲内において航空運賃に係る5割を交付する

（申請） 事業の10日前までに村長に提出

〈平成30年度実績〉

- ①派遣人数（25名） ②助成額（496,640円） ③大会数（全国：3大会、九州9大会）

【お問合せ先】 大宜味村教育委員会（担当：前田）TEL0980-44-3006



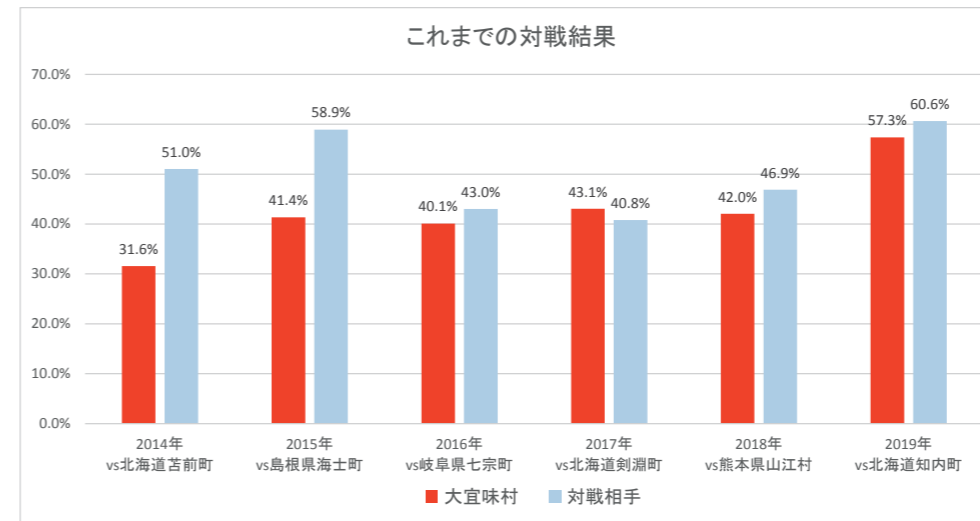
残念な結果に終わったものの、今年は昨年を15ポイント以上も上回る結果となりました。

チャレンジデーも6回目の実施となり、住民の方々にも徐々に浸透しつつあり、また小さな子からご年配の方までそれぞれが自分たちができる運動を楽しみながら参加してくれたおかげで、今回のような素晴らしい参加率になったと思います。ご協力ありがとうございました。

短い時間でも、少ない活動量でも継続して運動をすることが大事です。このチャレンジデーをきっかけに運動する習慣が根付き一人一人が健康について考えてくれることを期待します。



惜敗となり対戦相手の旗を掲げることとなりました…



	大宜味村のこれまでの結果		
	参加率	参加者	人口
2014年	31.6%	1044人	3308人
2015年	41.4%	1355人	3276人
2016年	40.1%	1267人	3160人
2017年	43.1%	1363人	3166人
2018年	42.0%	1314人	3126人
2019年	57.3%	1772人	3090人

### まずは自分を満たすことから… 大宜味村学力向上推進委員会総会・講演会

5月23日（木）、大宜味小学校多目的室において大宜味村学力推進委員会総会・講演会が開催されました。

総会では学習支援部会、社会力育成部会、学推事務局からそれぞれ令和元年度の学推活動計画が提案されました。

今回の総会・講演会には相談役、民生委員を始め、村議員、各区長、こども会長、学校職員から80名ほどが参加。例年より多くの方が集まりましたが、それでも保護者の参加が少なく、6月13日開催予定の学習支援部会、社会力育成部会の合同部会において今後、保護者が参加しやすい状況をつくるためにどうしたらいいか話し合うことになりました。

総会後は講師に沖縄県教育委員会スクールカウンセラーの大塚義也先生を招き「『30秒でできる！子どものやる気を引き出す声』～大人が変われば子どもは変わる～」の演題で講演会が開かれました。大塚先生は「子どものいいところをすぐ褒めることが大事。褒めることは甘やかすことではなく、いいところを伝えるだけでいい。人から感謝され認められて褒められると自己肯定感があがる。『褒める・励ます・育む』の3Hを実践していくといい。



講師の大塚義也先生

そして子どもだけでなく自分を大切に幸せにしてあげることも大事。簡単なことから自分を元気にする方法を持つておくといい」と話してくれました。

参加者たちもチムアタイ（肝あたり）するところがあるようで熱心に先生の話聞いていました。

今年のわんぱくはひと味違う… 令和元年度わんぱく体験団 第1弾「みちくさしよう&入団式」カラ梅雨なのに、この日は雨… 第2弾「野菜をつくろう!そのあとに…」 改め「ねんどをしよう!そのあとに…」

年号も変わり、新たな気持ちで迎える5月…。今年もやってきました!わんぱく体験団!毎年気になるその人数は **じゃかじゃん! 83名!!** すごいですね〜、記録更新。わんぱく史上、最多の人数です。そして、記念すべき令和元年第1回目の活動「みちくさしよう&入団式」が5月13日（月）に開催しました。あれ!? 平日!? 学校ある日じゃない? はい、その通り。今年度は平日学校終了後からの活動を初導入です。この日の活動はその名の通り「みちくさ」。大宜味小学校から旧大宜味小学校まで約3kmの道のりを歩きます。



出発進行!



海岸沿いを歩きます♪



こんな細い所も…



水を得た魚わんぱくたち



なるべく大きな道を横断しないように進むため、海沿いの歩道や狭い道を歩き、休憩場所の道の駅に到着。水分補給とトイレ休憩のだけのはずでしたが、海に入りたという団員…。みちくさだし、まいいかとOKしたら…腰まで水に浸かったり、泳ぎだす子も… 着替え持ってきているよね(ー\_ー)



歩きづらい砂浜を進みます



ゴールまであと少し♪

- ①PM2.5
- ②キャプテン大宜味
- ③ポテンチ
- ④BTS
- ⑤ちびっこチーム
- ⑥りくとパイセンブリブリチーム
- ⑦ラッキー 777777☆ピー
- ⑧ゴリ〜ンズ

班の名前決定!!



班長はだ〜れ?



盛り上がるしっぽとり

びしょびしょの人モカラカラの人もとにかく無事にゴール!! 思ったより時間がかかりましたが、楽しく歩くことができました。旧大宜味小では班の名前決め!今年もユニークな名前の班が8班誕生しました。短時間の活動でしたが、班の仲間とも交流することができました。このメンバーで今年1年頑張ろう!!

1回目のわんぱくから1週間…。間髪入れずにやってきた2回目のわんぱく。この日の活動は野菜作り!野菜の種や苗を植えて夏のキャンプに備えるはずでしたが…

朝起きたら雨…えっ!? 聞いてないんだけど…予報と違うんだけど…と、言うことで急遽「野菜をつくろう!」から「ねんどをしよう!」に変更となりました。残念に思った子も、ラッキーと思った子もいたはず(^\_^)k とりあえず気持ちを切り替え、ねんどで好きなものを作って楽しんじゃおう!

実はじゃんけん列車やってみました



すごいの作るから!



台風!?



不思議な卵!?

すてきな色です



個性あふれる芸術作品♪ 素晴らしい発想とていぐまに驚かされました。



カラフルキャンディー♪



元気玉!?

おしゃれな一品☆



あっ、アレですね



ねんどの後は「班対抗!ぞうさんリレー」。班で話し合い、順番やぞうさんの湿り気、2回走る人など作戦を立てて勝負に挑みました。

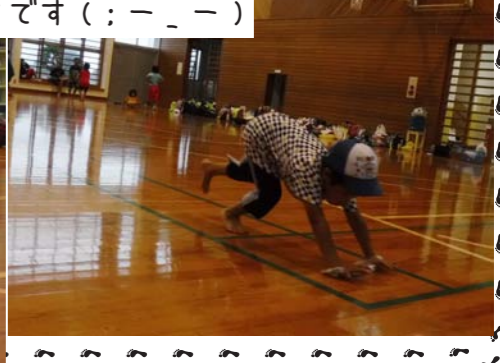
足の速い遅いに関係なく、なかなか前に進めない子もいれば思った以上のスピードで走る子もあり、予想外の展開で楽しい対戦となりました。

天候おかげで思わぬ活動となりましたが、ものづくりやスポーツ(!?)を満喫できた1日となりました。

これって掃除では…



違います!これはスポーツです(;\_ \_)



### 大宜味村の間切・村図の紹介3

土地整理の状況 土地整理事業を進めるにあたって、県は間切（現在の村）を通して各村（現在の字）の土地に関する調査報告書を提出させている。報告書では、田畑とも上・中・下に分け、宅地・山野・学校・社寺・墓地などの反別と筆数が記され、間切でまとめられた土地の反別・筆数をもとに土地整理事業が進められたことになる。各地目別の各筆地についている等級は、地押調査の際、村頭及び地主総代などの立会を求め、それらに諮問しつつ決められたというが、どの程度意志が取り入れられたかは定かでない。

饒波村の村頭（現在の区長）から間切長（現在の村長）宛に提出された「大宜味間切饒波村反別筆数取調（下に掲載）」によると、上・中田畑は、一戸に一筆宛配分されていたことが記されており、明治32年の饒波の戸数を84戸とおさえることもできる。

国頭郡大宜味間切饒波村反別筆数取調表 州二年三月調（『大宜味村史資料編』272～274P）

村名	区別	田				畑				宅地	山野	塩田池沼等	学校社寺等
		上	中	下	計	上	中	下	計				
饒波村	反別筆数	9,726 歩 84	7,321 歩 84	25,116 歩 420	42,303 歩 588	9,514 歩 84	4,525 歩 84	9,019 歩 168	23,123 歩 336	18,209 歩 84	34,718 歩 336	0 歩 0	620 歩 4

備考 本表八配当地二掛ル分ヲ調査セリ

- 一、畑ノ欄へ八本地畑及ヒ小地畑反別並筆数ヲ記載セリ
- 二、山野ノ欄ニ記入アルハ蘇鉄キナワ畑等ヲ揚レリ
- 三、田ノ欄へ八本地其

前表之通り取調口届候也

明治卅二年三月十三日 村頭 金城田吉 大宜味間切長 宮城親田殿

#### 調査材料

田 一人二付

上 八坪五分三リ（厘） 筆数一戸二付一筆ツゝ八十四戸分

中 六坪四分 同上

下 貳坪壹分四リ（厘） 同上一戸二筆ツゝ国頭田塩屋阿んに田も同上

畑 一人二付

上 八坪貳分九リ（厘） 同上一戸二付一筆ツゝ

中 三坪九分八リ（厘） 同上

口きやおり 一坪九分八リ（厘）

下 兼久畑ワリ 貳坪八分四リ（厘） 同上一戸二付

三筆ツゝ

キナワ畑ワリ

上野口口蘇鉄畑一人二付キ

上 五拾八坪一分七リ（厘） 同上一戸二付一筆ツゝ

中 五拾民炉六分三リ（厘） 同上一戸二付一筆ツゝ

下 貳拾貳坪一分六リ（厘） 同上

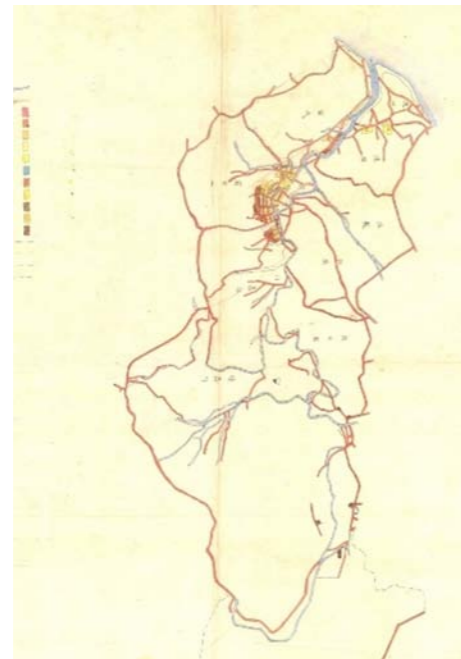
墓敷八 同敷八墓所台帳ニ依リテ取レリ

左 国頭郡大宜味間切饒波村全圖 縮尺六千分の一

約五五×一一〇cm 別紙約二七×四九cm 凡例あり  
原名 前項に同じ  
昔は饒波川に山原船が入り薪炭の積出しを行っていたという。

右 国頭郡大宜味村字饒波全圖 縮尺一万二千分の一

原名 ①渡口②苗代③池畑④前田⑤前田上⑥佐敷⑦桃原  
⑧喜味⑨親田圃⑩味嘉川⑪比謝



# 村史編さんだより

第98号 2019年6月1日 大宜味村村史編纂係44-8009 Eメール:sonshi@vill.okimi.okinawa.jp

## グラの郷 田嘉里むん市 参加報告！

5月5日（日）に行われた”第7回 グラの郷 田嘉里むん市”に参加しました。

村史編さん係では『特別企画展 屋嘉比ヌル展』ということで、屋嘉比ノロ殿内（大城家）所蔵の屋嘉比ノロが神行事の際に着用した神衣裳や祭祀道具などの展示、その他田嘉里に関する写真等の展示を行いました。今回確認した、屋嘉比ノロ殿内で保管されている大ノロ、若ノロの神衣裳は全部で17点（着物（下着用込）11点・サージ（ハチマキ）4点・カカン2点）があり、そのうちの14点を展示しました。祭祀道具は“脇差・簪・竹筒（大と小）・小玉の玉ガーラ・勾玉の玉ガーラ（首飾り）”を展示しました。

展示を見てくれた字の皆さまも興味津々で、「1、2着はあると知っていたが、こんなにたくさんあるとは！」と驚きの声があがり、また「こんなふう目の前に衣裳をずらっと並べて見ると圧巻だ…」と熱心に見入る方が多くいらっしゃいました。村内でこれだけのノロ遺品が残されているところは他にはなく、実物を見ることで、屋嘉比ノロと集落の歴史を身近に感じることが出来たと思います。今回の展示で快く衣裳を使わせていただいた大城家のみなさま、展示にご協力してくださったみなさま、本当にありがとうございました。

”グラ”とは…「チンブクダケ」のことで、田嘉里、謝名城、饒波などではタケノコを食用として食べます。また、枝の広がりきれいだということで、正月飾りとして松と一緒に飾ったりします。昔は釣竿、洗濯竿、建築材として利用されていました。



～当日の展示の様子～